

日伊国交樹立150周年記念

学習院大学史料館園生忌辻邦生ミニ展示

# 春の戴冠

*Haru no taikan*

# 嵯峨野明月記

*Saganomeigetsuki*

2016. 7. 15 [Fri.] ▶ 8. 12 [Fri.]

ボックスティチェリの生涯  
琳派の嵯峨木

日伊国交樹立150周年記念  
園生忌 辻邦生ミニ展示

# 春の戴冠・嵯峨野明月記 展



Haru no taikan e Saganomeigetsuki di TSUJI Kunio

2016年7月15日(金) ▶ 8月12日(金) ※閉室:日曜日(7月31日は開室)

開室時間 10:00-17:30

学習院大学史料館(北別館)内 ※入場無料

主催 学習院大学史料館

協力 おひるね茶屋中の郷 河出書房新社 札幌日本大学高等学校 学習院大学図書館

後援 イタリア文化会館



パリにて 1972年

## 辻邦生 (1925-1999) TSUJI Kunio

東京都生まれ。旧制松本高等学校から東京大学文学部仏蘭西文学科・同大学院を経て、1957-61年に渡仏。のち、学習院大学でフランス文学を講じる。

帰国後、小説「城」で作家デビュー。以後長篇小説をはじめ、美術・映画・音楽評論など多くの作品を遺した。学習院大学史料館では自筆原稿や創作ノートなど約4万点の資料を所蔵。

主な著作に『廻廊にて』(近代文学賞)、『安土往還記』(芸術選奨新人賞)、『天草の雅歌』、『嵯峨野明月記』、『春の戴冠』、『背教者ユリアヌス』(毎日芸術賞)、『フーシェ革命暦』、『西行花伝』(谷崎潤一郎賞)など。

イタリアと日本の画家たちが〈至高の美〉を目指した軌跡を描いた2つの作品を紹介  
自身も同様に〈美〉を探究し続けた作家・辻邦生の人柄や作品世界の魅力に迫る――

### 『春の戴冠』

イタリア・ルネサンス期に活躍し、『春(プリマヴェーラ)』、『ヴィーナスの誕生』  
等を描いた画家サンドロ・ボッティチェリ(1445/46-1510)の生涯と  
花の都フィオレンツァの興亡をたどった記念碑的作品。



光悦語本「うきふね」

### 『嵯峨野明月記』

戦国時代に京都で活躍した本阿弥光悦(1558-1637)・俵屋宗達(生没年不詳)・  
角倉素庵(1571-1632)が、「嵯峨本」(「光悦本」「角倉本」)の出版に向けて尽力し  
美を追究する姿を描いた作品。



旧制松本高等学校時代の日記  
西洋美術への関心がうかがえる



1995年 イタリア共和国より授与された  
カヴァリエーレ・ウッフイチャーレ章

## 講演会 第80回学習院大学史料館講座

「辻邦生のボッティチェリ観をめぐって  
――小説と歴史のあいだで」



講師 小佐野重利 氏 (東京大学大学院教授)

日時 7月23日(土)  
14:00-15:30 (13:30開場)

会場 学習院大学創立百周年記念会館

※入場無料・事前申込不要

おさの しげとし

1951年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科教授。辻邦生・佐保子夫妻と親交があった。主著に『記憶の中の古代―ルネサンスにみられる古代の受容』(中央公論美術出版)、『知性の眼 イタリア美術史七講』(同社)、『旅を糧とする芸術家』(三元社)など。

## 朗読 声でつむぐ辻文学『遠い園生』

辻邦生の命日である7月29日を偲び  
高校放送部員による朗読会を開催します。

日時 7月29日(金)

第1回 11:00~11:30

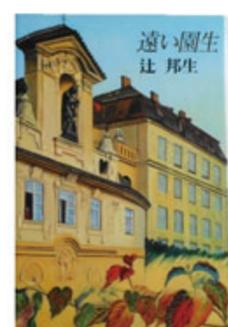
第2回 12:30~13:00

会場 学習院大学史料館(北別館)

※入場無料・事前申込不要

『遠い園生』

旧制松本高等学校時代に創作した最初期の  
習作。昭和20年に同校寄宿寮雑誌「思誠」  
に発表。辻文学の原点と言える作品。



『遠い園生』(辻邦生精選短篇シリーズ)  
阿部出版、1990年

## 学習院大学史料館

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

Tel 03-5992-1173

http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/

辻邦生関係資料Twitter

@kunio\_mini



### 辻邦生「安土往還記」収録

池澤夏樹=個人編集 日本文学全集19

『石川淳/辻邦生/丸谷才一』

河出書房新社より刊行

表面『春の戴冠』(新潮社、1996年)表紙装幀より 新潮社装幀室提供